

# N

# F

# C

## NFC CALENDAR

大ホール(2階)

日本ポルトガル修好通商条約150周年

ポルトガル映画祭2010

マノエル・ド・オリヴェイラとポルトガル映画の巨匠たち

The 150th Anniversary of the Peace, Friendship and Trade Treaty between Portugal and Japan (1860-2010)

Portuguese Cinema Festival 2010

2010年9月17日(金) - 10月3日(日)

主催: 東京国立近代美術館フィルムセンター, コミュニティシネマセンター(シネマテーク・プロジェクト), ポルトガル大使館

特別協力: カモンイス院 Instituto Camões, 川崎市市民ミュージアム, シネマテッカ・ポルトゲーズ Cinemateca Portuguesa - Museu do Cinema

後援: 日本ポルトガル協会, ポルトガル映画・映像院 Instituto do Cinema e do Audiovisual

協力: アテネ・フランセ文化センター, 岩波ホール, 川喜多記念映画文化財団, シネマトリックス, ユーロスペース, 映画美学校

JAPAN  
COMMUNITY  
CINEMA  
CENTER



INSTITUTO  
CAMÕES  
PORTUGAL

cinemateca  
portuguesa

9月の休館日:

月曜日, 9月10日(金) - 9月16日(木)

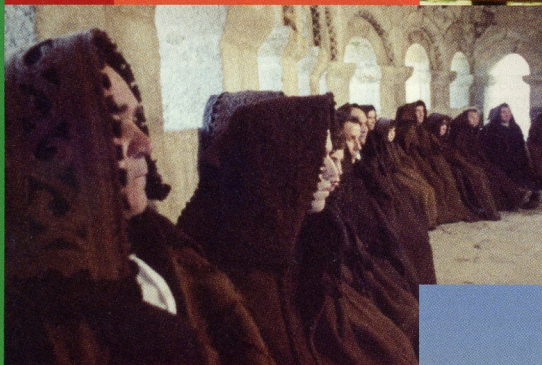


150º Aniversário da Assinatura do  
"Tratado de Paz, Amizade e Comércio entre Portugal e o Japão"  
Festival de Cinema Português 2010

日本ポルトガル修好通商条約 150周年

# ポルトガル映画祭 2010

マノエル・ド・オリヴェイラとポルトガル映画の巨匠たち



東京国立近代美術館フィルムセンター  
**National Film Center**  
The National Museum of Modern Art, Tokyo

2010  
**9**

NFCカレンダー  
2010年9月号

# 大ホール 上映作品

日本ポルトガル修好通商条約150周年  
ポルトガル映画祭2010  
Manoel・Oliveiraとポルトガル映画の巨匠たち  
Portuguese Cinema Festival 2010

2010年は、日本とポルトガルが修好通商条約の締結によって近代的な外交関係を樹立して150年となる記念の年です。日本でポルトガル映画が上映される機会は限られていますが、百歳をこえるいまも映画を作り続ける巨匠マノエル・ド・オリヴェイラ監督の作品は90年代以降、その多くが劇場公開され、多くのファンを獲得しています。ポルトガル「ノヴォ・シネマ」の代表的な監督であるパウロ・ローシャは外交官として東京で暮らし、日ポ合作映画『恋の浮島』をつくりました。また、『ヴァンダの部屋』『コロッサル・ユース』が劇場公開されたペドロ・コスタ監督は若い映画ファンの間で、カルト的な人気を博しています。

今回の映画祭では、これらの監督作品に加え、これまで公開が熱望されながら実現しなかったジョアン・セザール・モンテイロ監督3作品、ポルトガル映画史の中で重要な位置を占めるアントニオ・レイス、マルガリーダ・コルデイロの『トラス・オス・モンテス』、さらに国際的に注目を集める若い監督の作品など、日本未公開作品5本を含む17作品をラインナップしてご紹介します。

- 監督 原=原作 脚=脚本・脚色 台=台詞  
撮=撮影 編=編集 音=音楽 出=出演
- 上映作品には全て日本語字幕が付いています。
- 記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。

## 大ホール

開映後の入場はできません。  
定員=310名(各回入替制)

### 料金=共催企画の特別料金

一般1,300円/高校・大学生・シニア1,100円/小・中学生500円/障害者(付添者は原則1名まで)500円/キャンパスメンバーズ900円(学生), 1,000円(教職員)

### [リピーター割引]

本特集のチケット半券のご提示により入場料が割引(一般=1,100円、高校・大学生・シニア=1,000円)になります。(1枚につき1名様、1回まで有効)

### 発券=2階受付

- 観覧券は当日・当該回のみ有効です。
- 発券・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締切ります。
- 学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示ください。
- 発券は各回1名につき1枚のみです。

表紙(上から):

春の劇  
黄色い家の記憶  
トラス・オス・モンテス  
私たちの好きな八月  
トランス

## マノエル・ド・オリヴェイラ Manoel de Oliveira

A 9/17(金)3:00pm 9/26(日)11:00am

### アニキ・ボボ(71分・35mm・白黒)

Aniki Bóbo

オリヴェイラの長篇デビュー作。陽光降り注ぐポルトの街を舞台に、躍動するアナーキーな少年少女たちを縦横無尽に活写してネオリアリズムの先駆的作品と見なされる。「アニキ・ボボ」とは警官・泥棒という遊びの名前。幼い恋の冒険を「罪悪」と「友愛」の寓意へ変貌させる演出のスケール感はずでにして巨大。



'42(監)マノエル・ド・オリヴェイラ(脚)ロドリゲス・ド・フレイタス(脚)アントニオ・メンデス(脚)ヴィエイラ・ド・ソウザ(脚)ジャイメ・シルヴァ・フィリョ(脚)ナシメント・フェルナンデス、フェルナンダ・マトス、オラシオ・シルヴァ、アントニオ・サントス、アントニオ・モライス・ソアレス、フェリシアノ・ダヴド、ヴィタル・ドス・サントス

B 9/17(金)7:00pm 9/26(日)2:00pm 10/3(日)2:00pm

### 春の劇(94分・35mm・カラー)

日本初公開

Acto da Primavera

16世紀に書かれたテキストに基づいて山村クラリヤで上演されるキリスト受難劇の記録。自ら「作品歴のターニングポイント」と述べる本作でオリヴェイラが発見したのは「上演=表象の映画」という極めて豊かな脈脈だった。一見して不自然な「虚構」のドキュメントだけが喚起する謎と緊張。前人未到の「映画を超えた映画」の始まり。



'63(監)オリヴェイラ(脚)マノエル・ド・オリヴェイラ(脚)フランシスコ・ヴァス・ド・ギマランイス(脚)ニコラウ・ヌネス・ダ・シルヴァ、エルメリンダ・ピレシユ、マリア・マダレーナ、アメリア・シャヴェース、ルイス・ド・ソウザ、フランシスコ・ルイス

C 9/18(土)5:00pm 9/26(日)5:00pm

### 過去と現在 昔の恋、今の恋

(115分・35mm・カラー)

O Passado e o Presente

長篇劇映画第三作。ヴィンセンテ・サンシエスの同名戯曲を監督が自ら映画用に翻案。『フランシスカ』に至る「挫折した愛の四部作」の第一部にあたる。現在の夫に心を開かず、事故死した最初の夫への想いを募らせる妻ヴァンダを中心に、過去と現在、死者と生者の間を交差する奇妙な愛が描かれる。



'72(監)マノエル・ド・オリヴェイラ(脚)ヴィンセンテ・サンシエス(脚)アカシオ・ド・アルメイダ(脚)マリア・ド・サイセット、マヌエラ・ド・フレイタス、ペドロ・ピニエロ、バルバラ・ヴィエイラ、アルベルト・イナシオ

D 9/19(日)5:00pm 10/2(土)11:00am

### カニバイシュ(91分・35mm・カラー)

Os Canibais

『過去と現在』から音楽を担当してきたジョアン・パエスとともに作られたオペラ・ブッフ映画。厳かに信仰する貴族たちの晩餐会は、やがて、タイトルが予告する驚愕の食人場面へ。人間と動物、人間と機械、見せかけと本質…ヴァイオリンの調べに乗ってあらゆる境界線が軽々と犯される。



'88(監)マノエル・ド・オリヴェイラ(脚)アルヴァロ・カルヴァリャル(脚)マリオ・パロゾ(脚)サビーネ・フラネル(脚)ジョアン・パエス(脚)ルイス・ミゲル・シントラ、レオノール・シルヴェイラ、ディオゴ・ドーリア、オリヴェイラ・ロベス、ペドロ・テイシェイラ・ダ・シルヴァ、ジョエル・コスタ

E 9/21(火)3:00pm 10/1(金)7:00pm

### 神曲(141分・35mm・カラー)

A Divina Comédia

「精神を病める人々の家」の表札が掲げられた邸宅で、アダムとイブ、キリスト、ラスコリーニコフ、ニーチェのアンチ・キリストら歴史的文学作品の登場人物たちが、信仰と理性と愛についての議論を戦わせる。西洋古典の深奥に分け入りながらも「まったく未知なものとして、絶対的な驚き」とともに再び映像として蘇らせるオリヴェイラ芸術の真骨頂。



'91(監)マノエル・ド・オリヴェイラ(脚)イワン・コゼルカ(脚)ヴァレリー・ロワズルー(脚)マリア・ド・メデイロス、ミゲル・ギジェルメ、ルイス・ミゲル・シントラ、マリオ・ヴィエガス、レオノール・シルヴェイラ、ディオゴ・ドーリア、パウロ・マトス、ジョゼ・ヴァレンシヤン、ルイ・フルタード、カルロス・ゴメス

F 9/22(水)3:00pm 10/1(金)3:00pm

### アブラム渓谷(188分・35mm・カラー)

Vale Abraão

フロベール「ボヴァリー夫人」をもとにポルトガル文学の巨匠アグスティナ・ベッサリスが原作を執筆。彫琢された言葉の響きとオリヴェイラの完璧な映像が火花を散らす「文芸映画」の最高峰。監督が追求し続ける女性美が、主人公エマを演じるレオノール・シルヴェイラと洗濯女を演じるイザベル・ルトの両極に具現する。



'93(監)マノエル・ド・オリヴェイラ(脚)アグスティナ・ベッサリス(脚)マリオ・パロゾ(脚)ヴァレリー・ロワズルー(脚)レオノール・シルヴェイラ、セシル・サンス・ド・アルバ、ルイス・ミゲル・シントラ、ルイ・ド・カルヴァリョ、グロリア・ド・マトス、ルイス・リマ・バルト、ジョアン・ペリー、ディオゴ・ドーリア、イザベル・ルト

G 9/23(木)5:00pm 9/29(水)7:00pm

### 階段通りの人々(96分・35mm・カラー)

A Caixa

リスボンの街路を舞台にした群像劇。「すべての私の映画同様、『階段通りの人々』は人生から沸きだした特別な何かだ。それは貧しくて周縁にいる、ほとんど忘れられた人々の目を通して人間のポートレイトだ。これは1920年代の映画、初期映画への回帰を示す映画なのだ。



'94(監)マノエル・ド・オリヴェイラ(脚)プリスタ・モンテイロ(脚)マリオ・パロゾ(脚)ヴァレリー・ロワズルー(脚)ルイス・ミゲル・シントラ、ペアドリス・バタルダ、フリベ・コジョフェル、イザベル・ルト、グリシニア・カルタン、ルイ・ド・カルヴァリョ、ディオゴ・ドーリア、ソフィア・アルヴェス、ドゥアルテ・コスタ

## ジョアン・セザール・モンテイロ João César Monteiro

H 9/21(火)7:00pm 9/25(土)11:00am 10/3(日)11:00am

### 黄色い家の記憶

(122分・35mm・カラー)

日本初公開

Recordações da Casa Amarela

強烈な存在感で見る者を魅了してやまない瘦身の中年男デウス(神)をモンテイロが愉快に自作自演した「ジョアン・ド・デウス」シリーズの第一作。姦淫、盗みなどの悪行に身を任せる天衣無縫のデウスの足跡が、そのままモラリスト的の人間観察へと転じる。サッサ・ギトリやバスター・キートンと比肩する偉大な個性を世界に印象つけた傑作。



'89(監)ジョアン・セザール・モンテイロ(脚)ジョゼ・アントニオ・ルレイロ(脚)エリナ・アルヴェス、クラウディオ・マルティネス(脚)マヌエラ・ド・フレイタス、ルイ・フルタード、テレーザ・カラド、ドゥアルテ・ド・アルメイダ、アントニオ・テリーニャ、サビナ・サッシ、エンリケ・ヴィアナ、ルイス・ミゲル・シントラ

I 9/22(水)7:00pm 9/25(土)2:00pm

### ラスト・ダイビング (88分・35mm・カラー) O Último Mergulho

死を想い波止場で淋しげにたたく青年に、老人が声をかける。実は自分も人生に飽きている。最後に街に繰り出し存分に遊び、それから死ぬことにしようじゃないか…。ネオン煌めく夜のリスボンで繰り広げられる歌と踊り、酒と官能の宴。絶望と引き替えに許された、底抜けに大らかな人間賛歌。



'92◎◎ジョアン・セザル・モンテイロ◎ドミニク・シャピユイ◎ステファニー・マエウ◎ファビエンヌ・パーブ、ディニス・ネト・ジョルジ、エンリケ・カント・イ・カストロ、フランセスカ・ブランデイ、リタ・ブランコ、カタリナ・ロウレンソ

M 9/19(日)11:00am 9/29(水)3:00pm

### 恋の浮島 (169分・35mm・カラー) A Ilha dos Amores

14年の歳月をかけて作られた日本-ポルトガル合作映画。日本で暮らした作家ヴェンセスラオ・デ・モラエス(1854-1929)の波瀾の生涯を描く。ポルトガルと日本、中国の古典文学を換骨奪胎し、東洋と西洋ふたつの精神が交差する。ローシャの奔放な想像力が生み出した過剰なる問題作。



'82◎◎◎パウロ・ローシャ◎ルイザ・ネト・ジョルジ◎羽田遼子、渡辺守章、載震◎岡崎宏三、アカシオド・アルメイダ、エルソ・ロック◎菅野善雄◎パウロ・ブランダオン◎ルイス・ミゲル・シントラ、クララ・ジュアナ、ジタ・ドアルテ、ジョルジュ・シルヴァ・メロ、三田佳子、村雲敦子、王萊

ミゲル・ゴメス  
Miguel Gomes

Q 9/24(金)3:00pm 10/2(土)1:30pm

### 私たちの好きな八月 (147分・35mm・カラー)

日本初公開

Aquele Querido Mês de Agosto

新鋭ミゲル・ゴメスの長篇第二作。ヴァカンス期のポルトガル山間部を舞台に、地元の村人、映画製作チーム、音楽フェスティバルの様子をドキュメンタリー的に描く前半部が、やがていつの間にか、途切れることなく、美しい少年と少女のメロドラマを綴る後半へと移行する。真夏の夜の夢のような脱ジャンルの秀作。



2008◎◎◎ミゲル・ゴメス◎◎マリアナ・リカルド◎◎テルモ・シュエロ◎ルイ・ポサス◎ソニア・バンデira、ファビオ・オリヴェイラ、ジョアキン・カルヴァロ、アンドレイ・サントス、アルムンド・ヌネス、マヌエル・ソアレス・セレスティノ、エマニュエル・フェウール

J 9/23(木)1:30pm 9/25(土)4:30pm

### 神の結婚 (142分・35mm・カラー) As Bodas de Deus

「ジョアン・ド・デウス」シリーズの最終作。「神の使い」から突如巨万の富を与えられたデウスは、それ幸いとばかりに自分の欲望を解禁する。実現した夢のような生活はしかし突如終息し、デウスは自分が破滅しているのを知る…。社会秩序の無効性を一方的に宣告するサド的な放縱さ。欲望と自由をめぐる孤高の省察。



'99◎◎◎ジョアン・セザル・モンテイロ◎マリオ・パロソ◎◎ジョアキン・ピント◎リタ・ドゥラ、ジョアナ・アゼヴェド、ジョゼ・アイローザ、マヌエル・フレイタス、ルイス・ミゲル・シントラ

アントニオ・レイス/マルガリーダ・コルデイロ  
António Reis, Margarida Cordeiro

N 9/19(日)2:30pm 9/30(水)3:00pm 10/3(日)5:00pm

### トラス・オス・モンテス (108分・35mm・カラー)

日本初公開

Trás-os-Montes

ポルトガル現代詩を代表するアントニオ・レイスが、マルガリーダ・コルデイロと共に作った初長篇。川遊びなどにうち興じる子供たちの姿を中心に、遠い山奥のきらきらと輝く宝石のような日々を夢幻的な時間構成により浮かび上がらせる。公開当時、フランスの批評家たちを驚嘆させ、後にペドロ・コスタにも影響を与えたという伝説的フィルム。



'76◎◎◎アントニオ・レイス、マルガリーダ・コルデイロ◎アカシオド・アルメイダ◎トラス・オス・モンテスの住民たち

### シネマテーク・プロジェクト

この映画祭は、コミュニティシネマセンターが全国各地の映画専門施設(シネマテーク)と共同で行う「シネマテーク・プロジェクト」の第3弾として位置づけられるもので、東京での開催後、全国10会場に巡回する予定です。

「ポルトガル映画祭2010」巡回会場(予定)

金沢21世紀美術館

京都「駅ビルシネマ」

広島市映像文化ライブラリー

神戸アートビレッジセンター

山口情報芸術センター

せんだいメディアテーク

高知県立美術館

川崎市アートセンター

アテネ・フランセ文化センター

福岡市総合図書館

<http://www.jc3.jp/portugal2010/>

パウロ・ローシャ  
Paulo Rocha

K 9/18(土)11:00am 9/28(水)3:00pm

### 青い年 (87分・35mm・白黒) Os Verdes Anos

パリで映画を学び帰国したパウロ・ローシャの監督第一作。田舎からリスボンに移り住み、新生活を始めた若者ジュリオの恋心と孤独を清冽に描く。ロケーション撮影、省略と飛躍が印象的な、「ノヴォ・シネマ」(新しい映画)の嚆矢となる重要作。ポルトガルを代表する美人女優イザベル・ルトの初々しい佇まいが魅力的。



'63◎◎◎パウロ・ローシャ◎◎ヌーノ・ブラガンサ◎リック・ミロ◎マルガリータ・マンクス◎カルロス・パレーダス◎ルイ・ゴメス、イザベル・ルト、ルイ・フルタード、ハリ・ウィーランド、パウロ・レナート、カルロス・ジョゼ・テイシェイラ、カンディダ・ラセルダ

ペドロ・コスタ  
Pedro Costa

O 9/23(木)11:00am 9/30(木)7:00pm

### 骨 (94分・35mm・カラー) Ossos

現代映画の最前線をひた走るペドロ・コスタの長篇第三作。リスボン近郊のスラム街フォンターニャス地区を舞台に、貧困と無気力にうちひしがれる若者たちの生を透徹した眼差しで描く。劇映画の枠組みを多分に残して作られたコスタ最後のフィルムであり、物語を食い破るように突出するショットの残酷な輝きが際立つ。



'97◎◎◎ペドロ・コスタ◎◎エマニュエル・マシュエル◎ジャッキー・バステイド◎ヴァンダ・ドアルテ、ヌーノ・ヴェス、マリア・リブキナ、イザベル・ルト、イネス・ド・メデイロス、ミゲル・セルマオン、ベルタ・スザーナ・テイシェイラ

テレーザ・ヴィラヴェルデ  
Teresa Villaverde

P 9/24(金)7:00pm 10/2(土)5:00pm

### トランス (126分・35mm・カラー)

日本初公開

Transe

サンクトペテルブルグで暮らしていたソーニャは、より良い暮らしを求めて西ヨーロッパへ向かうが、旅の途中で過酷な現実と直面する。人間の尊厳を奪われる絶望的な状況の中で、奇妙にも、耽美的な夢世界への通路が開かれる。いまポルトガルでもっとも期待される才能のひとりヴィラヴェルデの代表作。



2006◎◎◎テレーザ・ヴィラヴェルデ◎◎ジョアン・リベイロ◎アンドレ・ダヴァンチュール◎アナ・モレイラ、ヴィクトル・ラコフ、ロビンソン・ステヴェニン、イアイア・フォルテ、アンドレイ・チャドフ、フィリップ・ティミ、ディナラ・ドルカローヴァ

L 9/18(土)2:00pm 9/28(水)7:00pm

### 新しい人生 (94分・35mm・白黒) Mudar de Vida

ローシャの監督第二作。ポルトガルの漁村を舞台に、兵役から戻った主人公が、挫折を経て、人生を再出発させるまでの軌跡を描く。村民たちの漁の様子、麦わらや砂集めなどの労働が、モノトーンの映像で丹念に積み重ねられる。従来の劇映画のストーリーテリングとは一線を画す、偏心的構成が斬新な佳作。

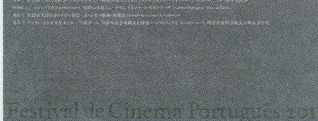


'66◎◎◎パウロ・ローシャ◎◎アントニオ・レイス◎エルソ・ロック、カルロス・マヌエル・シルヴァ◎マルガリータ・マンクス、ノエミア・デルガド◎カルロス・パレーダス◎ジェラルド・デルレイ、イザベル・ルト、マリア・パロソ、ジョアン・ゲデス、コンスタンサ・ナバロ、マリオ・サントス、ヌネス・ヴィダル



Festival de Cinema Portugues 2010

ポルトガル映画祭2010  
マヌエル・オリヴェイラとポルトガル映画の巨匠たち  
2010年9月17日(金) - 10月3日(日)  
東京都立近代美術館フィルムセンター・大ホール



Festival de Cinema Portugues 2010

月	火	水	木	金	土	日							
9月	13	14	15	16	17	K 青い年 11:00am (87分)	M 恋の浮島 11:00am (169分)						
						A アニキ・ポポ 3:00pm (71分)	L 新しい人生 2:00pm (94分)	N トラス・オス・モンテス 2:30pm (108分)					
						B 春の劇 7:00pm (94分)	C 過去と現在 昔の恋、今の恋 5:00pm (115分)	D カニバイシュ 5:00pm (91分)					
10月	20	21	22	23	24	25	26	O 骨 11:00pm (94分)	H 黄色い家の記憶 11:00am (122分)	A アニキ・ポポ 11:00am (71分)			
								E 神曲 3:00pm (141分)	F アブラハム渓谷 3:00pm (188分)	J 神の結婚 1:30pm (142分)	Q 私たちの好きな八月 3:00pm (147分)	I ラスト・ダイビング 2:00pm (88分)	B 春の劇 2:00pm (94分)
								H 黄色い家の記憶 7:00pm (122分)	I ラスト・ダイビング 7:00pm (88分)	G 階段通りの人々 5:00pm (96分)	P トランス 7:00pm (126分)	J 神の結婚 4:30pm (142分)	C 過去と現在 昔の恋、今の恋 5:00pm (115分)
27	28	29	30	31	1	2	3	D カニバイシュ 11:00am (91分)	H 黄色い家の記憶 11:00am (122分)				
								K 青い年 3:00pm (87分)	M 恋の浮島 3:00pm (169分)	N トラス・オス・モンテス 3:00pm (108分)	F アブラハム渓谷 3:00pm (188分)	Q 私たちの好きな八月 1:30pm (147分)	B 春の劇 2:00pm (94分)
								L 新しい人生 7:00pm (94分)	G 階段通りの人々 7:00pm (96分)	O 骨 7:00pm (94分)	E 神曲 7:00pm (141分)	P トランス 5:00pm (126分)	N トラス・オス・モンテス 5:00pm (108分)

■作品によって開映時間が異なりますのでご注意ください。

小ホール(地下1階)

京橋映画小劇場No.20  
アンコール特集:  
2009年度上映作品より  
Back by Popular Demand: From the Programs of 2009  
10月1日(金)〜10月17日(日) ※金・土・日曜日のみ上映  
定員=小ホール 151名(各回入替制)  
発券=地下1階受付  
料金=一般500円/高校・大学生・シニア300円/  
小・中学生100円/障害者(付添者は原則1名まで)、  
キャンパスメンバーズは無料  
・開映後の入場はできません。  
・観覧券は当日・当該回のみ有効です。  
・発券・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第  
締切ります。  
・学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバ  
ーズの方は、証明できるものをご提示ください。  
・発券は各回1名につき1枚のみです。  
・詳細は当該チラシをご覧ください。

展示室(7階)

【企画展】  
生誕百年 映画監督 黒澤明  
Akira Kurosawa at his Centenary  
9月17日(金)〜10月31日(日),  
11月9日(火)〜12月26日(日) ※月曜日は休室  
巨匠黒澤明監督(1910-1998)の生誕百年  
を記念して、黒澤監督とその世界的な名作  
の数々にまつわる資料を展示し、その大いなる  
足跡をたどります。また近年フィルムセンタ  
ーに寄贈された、黒澤作品の名優志村喬の  
旧蔵資料を公開する初の機会ともなります。  
・詳細は当該チラシをご覧ください。

【常設展】企画展に併設  
展覧会 映画遺産

一東京国立近代美術館フィルムセンター・コレクションより  
The Japanese Film Heritage  
一From the Non-film Collection of the National Film Center一  
開室時間=午前11時〜午後6時30分  
(入場は午後6時まで)  
料金(企画展・常設展共通)=一般200円(100円)/大学  
生・シニア70円(40円)/高校生以下及び18歳未満・障害  
者(付添者は原則1名まで)、MOMATパスポートをお持ち  
の方、キャンパスメンバーズは無料  
\*( )内は20名以上の団体料金です。  
\*学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバ  
ーズの方は、証明できるものをご提示下さい。  
\*フィルムセンターが主催する上映会をご覧になった方は当日  
に限り、半券のご提示により団体料金が適用されます。

図書室カレンダー

赤字は休室日

9月

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

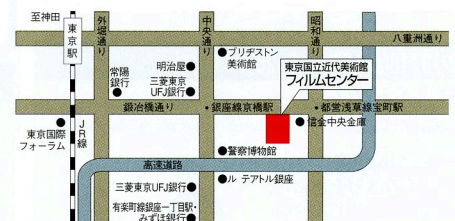
図書室(4階)

開室=火曜日〜土曜日(午後0時30分〜午後6時30分/入室  
は午後6時まで) 閉室=休館日および日曜日・祝日

2階受付では、「NFCニュースレター」(隔月刊)を  
販売しています。これは、フィルムセンターのさまざまな  
催し物や事業の情報、上映番組の解説、予告等はもちろんのこと、世界のフィルム・アーカイブ  
やシネマテークの紹介、映画史研究の先端的成果の発表などを掲載する機関誌です。どうぞご利用  
下さい。



東京国立近代美術館フィルムセンターは、国際フィルム・  
アーカイブ連盟(FIAF)の正  
会員です。FIAFは文化遺産  
として、また、歴史資料として  
の映画フィルムを、破壊・散  
逸から救済し保存しようとする  
世界の諸機関を結びつけて  
いる国際団体です。



フィルムセンター 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通:  
東京外口銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分  
都営地下鉄浅草線三軒町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分  
東京外口有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分  
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ:ハローダイヤル03-5777-8600  
NFCホームページ:  
<http://www.momat.go.jp/>  
NFC携帯電話ホームページ:  
<http://www.momat.go.jp/nfc/k/>

